

## 平成24年度日本山岳協会新春、顧問・参与会報告

1. 期 日 平成25年1月19日（土）午前10時30分～
2. 場 所 東京都千代田区九段北『アルカディア市ヶ谷』
3. 出席者 日山協役員・顧問、参与等凡そ50名  
日山協役員神崎会長以下各役員  
坂口顧問以下、顧問・全国から出席の参与凡そ150名
4. 会議内容
  - 1) 午前1時30分定刻に4階会議室に於いて開会、初めに神崎会長から全国の参与のコミュニケーションを取りたいこと、今年度の全日大会は福井県で開催された参与会は一年で2回ぐらいの開催なので今回は東京に参集してもらった。  
昨年11月公益法人としての認定基準に適合すると認める答申があり、これからの日山協公益事業の実施、登山を通じた社会奉仕の実施等意識の改革を進めなければならないと挨拶があった。
  - 2) 尾形専務理事から日山協は『社団法人日本山岳協会』から平成25年4月1日を以て『公益社団法人日本山岳協会』になりますと報告。  
更にこれまでの経過報告、公益社団法人となるとどのような組織になるか、（公社）日本山岳協会の仕組みと体制がどのようになるか、今後日本山岳協会が目指すものは何かなどについて説明があった。
  - 3) 事務局（尾形専務からの）の説明のあと、出席した参与から自己紹介を兼ねて近況とか日山協に対する考え方、意見、要望などが寄せられた。  
全国参与から出された主な意見、地方岳連の現状と課題、財政問題、参与の位置付などあったが、東京の瀧島顧問からの意見で登山者自立について、指導者の育成と指導内容の整備、現状を良く分析し日山協があってよかったと言える、原点に戻る日山協であるべきとの意見は地方岳連の私たちが今後の指針とすべきと感じた。
5. 新春懇談会 同じ会場の『富士の間』で午後1時から開会、
  - 1) 主催者 神崎日山協会長・八木原副会長・尾形専務理事など
  - 2) 顧 問 坂口顧問・瀧島顧問・山本顧問など
  - 3) 来 賓 マダン・クマールネパール大使・渡部国立登山研修所所長  
日本山岳会会長・日本勤労者山岳会会長など
  - 4) 出席者 北海道・東北・関東ブロックなど沖縄県まで150名出席

内 容

神崎会長の挨拶

来賓の挨拶（マダンネパール大使・渡部登山研修所所長・尾上日本山岳会・西本日本勤労者山岳連盟会長外）

表彰（平成24年に活躍された方々に対する表彰が行われた）

- ・第3回日本山岳グランプリ 山森欣一さん（日本山岳文化学会・ヒマラヤ協会）
- ・特別表彰 小泉昌弘さん外4名（地方岳連推薦）  
井上邦彦さん外4名（専門委員会推薦）
- ・第62回日本スポーツ賞受賞 渡邊玉枝さん（女性エベレスト高齢者）
- ・平成24年度海外登山奨励金交付登山隊 平出和也
- ・招待スポーツクライミング選手安間 佐千、野口 啓代さんの表彰が行われた。

引き続き日山協顧問による乾杯が行われ懇親会が開かれた。

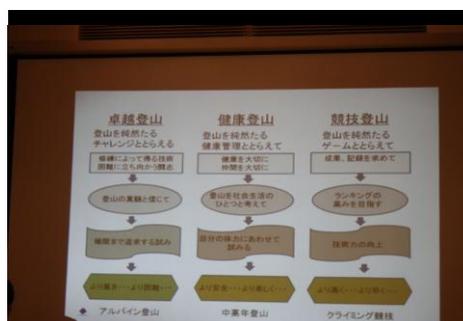
山岳文化学会役員から、学会研修会の26年開催について、東北各岳連会長春のブロック会議日程について、渡部登山研修所所長から剣の件、外各県役員と交流を行った。

閉会 日本山岳ガイド協会理事長磯野剛太さんの中締めをもって閉会となった。

午後3時散会

報告者：清野 孝

### 『参与会風景』



### 『懇談会』